



平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 20 年 8 月 8 日

会 社 名 株式会社 富士テクノソリューションズ

グリーンシート銘柄

コード番号 2336

本社所在都道府県 神奈川県

本社所在地 神奈川県厚木市愛甲 980-1

問い合わせ先 責任者役職名 経営管理部 部長

氏 名 岩澤 隆則

TEL (046) 250-1666

1. 平成 21 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っておりません。
 3. 千円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
21 年第 1 四半期	723,507	(12.5)	7,043	(155.4)	947	(70.3)
20 年第 1 四半期	643,026	(5.3)	2,758	(△64.6)	556	(△91.0)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
21 年第 1 四半期	947	(83.9)	117 38	—	1.0	0.1	0.1
20 年第 1 四半期	515	(△91.7)	63 86	—	0.6	0.1	0.1

- (注) 1. 期中平均株式数 21 年第 1 四半期 8,076 株 20 年第 1 四半期 8,076 株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
 4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、期中平均株価の把握が困難なため、記載を省略しております。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
21 年第 1 四半期	822,363	95,409	11.6	11,813 95
20 年第 1 四半期	835,569	81,975	9.8	10,150 47

- (注) 期末発行済株式数 21 年第 1 四半期 8,076 株 20 年第 1 四半期 8,076 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
21年第1四半期	42,460	△20,054	△25,090	193,493
20年第1四半期	△9,369	2,144	31,510	241,893

2. 平成21年3月期の業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	3,190,000	100,000	60,000	—	—	—	0 0	0 0

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 7,429円42銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

第 33 期 第 1 四半期報告書

(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号)	株式会社 富士テクノソリューションズ
英文名(英文商号)	Fuji Techno Solutions Co. Inc.
コード番号	2336
代表者の役職氏名	代表取締役社長 高井 男
本店の所在の場所	神奈川県厚木市愛甲 980-1
電話番号	046-250-1666
連絡者	経営管理部 部長 岩澤 隆則

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 33 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日	自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日	自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日
I 売 上 高		723,507	723,507	643,026
II 売 上 原 価		595,907	595,907	493,323
売上総利益		127,600	127,600	149,703
III 販売費及び一般管理費		120,556	120,556	146,944
営業利益		7,043	7,043	2,758
IV 営業外収益		360	360	560
V 営業外費用		6,456	6,456	2,762
経常利益		947	947	556
VI 特別損失		—	—	41
税引前四半期(当期)純利益		947	947	515
法人税、住民税及び事業税		—	—	—
四半期(当期)純利益		947	947	515

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 33 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日	自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日	自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日
期中平均株式数		8,076 株	8,076 株	8,076 株
1株当たり四半期(当期)純利益		117 円 38 銭	117 円 38 銭	63 円 86 銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—

※潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益については、期中株価の把握が困難なため、記載を省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第 33 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日	自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日	自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日
技術者派遣事業		440,803	440,803	410,265
デジタルエンジニアリング請負事業		179,321	179,321	153,665
ソリューション事業		85,256	85,256	67,439
ハード・ソフト販売事業		18,126	18,126	11,655
合 計		723,507	723,507	643,026

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第 32 期末	第 33 期 第 1 四半期
		(平成 20 年 3 月 31 日現在)	(平成 20 年 6 月 30 日現在)
(資 産 の 部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金		196,176	193,493
2. 受取手形		11,562	9,457
3. 売掛金		396,024	362,859
4. 商品		51,228	50,943
5. 仕掛品		31,500	31,989
6. 前払費用		23,647	29,300
7. その他流動資産		12,693	23,537
流動資産合計		722,832	701,581
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 建物附属設備		9,928	11,502
(2) 車輛運搬具		638	594
(3) 器具備品		10,172	13,342
有形固定資産合計		20,739	25,439
2. 無形固定資産		7,506	6,967
3. 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券		1,173	1,173
(2) 関係会社株式		63	63
(3) 保険積立金		16,515	16,806
(4) 差入敷金保証金		36,585	50,112
(5) 会員権		16,300	16,300
(6) 長期前払費用		1,263	1,136
(7) その他投資等		705	589
貸倒引当金		△8,275	△8,275
投資その他の資産合計		64,332	77,906
固定資産合計		92,578	110,312
III 繰延資産			
社債発行費		10,932	10,468
繰延資産合計		10,932	10,468
資 産 合 計		826,344	822,363

科 目	期 別	第 32 期末	第 33 期 第 1 四半期
		(平成 20 年 3 月 31 日現在)	(平成 20 年 6 月 30 日現在)
(負 債 の 部)			
I 流動負債			
1. 買 掛 金		69,375	27,917
2. 短期借入金		12,400	2,400
3. 1年以内返済予定の長期借入金		23,960	20,360
4. 1年以内償還予定社債		57,600	57,600
5. 未 払 金		130,881	169,641
6. 未 払 費 用		13,308	19,912
7. 未 払 法 人 税 等		1,188	—
8. 未 払 消 費 税 等		20,421	—
9. 預 り 金		3,607	3,598
10. 賞 与 引 当 金		13,986	13,986
11. その他流動負債		117	36,913
流動負債合計		346,847	352,329
II 固定負債			
1. 長期借入金		37,220	32,930
2. 社 債		284,800	277,600
3. 退職給付引当金		57,512	59,055
4. 金利スワップ		1,017	1,017
5. その他固定負債		4,486	4,022
固定負債合計		385,035	374,624
負債合計		731,882	726,953
(純資産の部)			
I 株主資本			
1. 資 本 金		81,865	81,865
2. 資 本 剰 余 金			
(1)資本準備金		2,180	2,180
資本剰余金合計		2,180	2,180
3. 利 益 剰 余 金			
(1)利益準備金		1,021	1,021
(2)その他利益剰余金			
繰越利益剰余金		10,786	11,734
利益剰余金合計		11,808	12,756
株主資本合計		95,854	96,802
II 評価・換算差額等			
繰延ヘッジ損失		△1,393	△1,393
評価・換算差額等合計		△1,393	△1,393
純資産合計		94,461	95,409
負債純資産合計		826,344	822,363

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 32 期末	第 33 期 第 1 四半期
		(平成 20 年 3 月 31 日現在)	(平成 20 年 6 月 30 日現在)
発行済株式総数		8,076 株	8,076 株
1 株当たり純資産額		11,696 円 58 銭	11,813 円 95 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項目	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			繰延 ヘッジ 損失	評価・換 算差額等 合計	
		資本 準備金	利益 準備金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金				
平成 20 年 3 月 31 日残高	81,865	2,180	1,021	10,786	95,854	△1,393	△1,393	94,461
第 1 四半期中の 変動額								
四半期純利益	—	—	—	947	947	—	—	947
第 1 四半期中の 変動額合計	—	—	—	947	947	—	—	947
平成 20 年 6 月 30 日残高	81,865	2,180	1,021	11,734	96,802	△1,393	△1,393	95,409

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第 5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 当四半期においては、計上を省略しております。
3. 消費税の会計処理 消費税等は仮払消費税等をその他流動資産に、仮受消費税等をその他流動負債に含めて表示しております。

なお、当該四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第33期 第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日）の業績の概況

当四半期における我が国経済は、米国経済の減速、原油価格の高騰や素材価格の高騰、新興国を中心としたインフレ懸念など環境悪化の影響により、国内の生産動向や民間設備投資に減速感が強まっております。

こうした状況下において、当社は「モノづくり支援のトータルソリューション」をキーワードに、製造業に対しての技術支援を4つの事業分野に分け提供しております。

分野別にみますと、技術者派遣事業は新卒者の配属の遅延もありましたが、自動車、家電、精密機器等への設計・開発分野において堅調な増加もあり、売上高は440,803千円（前年同期比7.4%増）となりました。

デジタルエンジニアリング請負事業は工作機械関連への堅調な増加もあり、売上高は179,321千円（前年同期比16.7%増）となりました。

ソリューション事業はソフトウェア開発及びサポートが順調に増加し、売上高は85,256千円（前年同期比26.4%増）となりました。

ハード・ソフト販売事業はVPS（Virtual Product Simulator）関連商品が増加し、売上高は18,126千円（前年同期比55.5%増）となりました。

この結果、当四半期につきましては、売上高723,507千円（前年同期比12.5%増）と増加いたしました。利益面につきましては、売上原価及び新卒者の研修期間の長期化による研修費用の増加もありましたが、売上高の増加により営業利益7,043千円（前年同期比155.4%増）となりました。営業外費用として関東地区再編による新宿本社の閉鎖費用として3,654千円の計上をした事に伴い、経常利益947千円（前年同期比70.3%増）、四半期純利益947千円（前年同期比83.9%増）となりました。

III 第33期通期の売上高及び利益の予測について

第33期通期の売上及び利益の予測につきまして、前回の発表からの変更はありません。

（単位：千円）

科 目	期 別	第32期（実績）	第33期（予想）
		〔 自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日 〕	〔 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日 〕
売 上 高		2,799,105	3,190,000
経 常 利 益		14,244	100,000
当 期 純 利 益		9,688	60,000

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

（単位：千円）

科 目	期 別	第33期 第1四半期
		自平成20年4月1日 至平成20年6月30日
現金及び預金の増減額		△2,683
現金及び預金の四半期首残高		196,176
現金及び預金の四半期末残高		193,493

（主な増減理由）

税引前四半期純利益947千円、売掛金の減少33,165千円、未払金の増加38,760千円が主な増加要因であり、短期借入金の減少10,000千円、有形固定資産の取得6,530千円、敷金保証金の増加13,526千円、長期借入金の返済による支出7,890千円、社債の減少7,200千円が主な減少要因であります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 33 期 第 1 四半期
		自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日
短期借入金の増減額		△10,000
短期借入金の四半期首残高		12,400
短期借入金の四半期末残高		2,400

(主な増減理由)

短期借入金の返済による減少です。

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 33 期 第 1 四半期
		自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 20 年 6 月 30 日
長期借入金の増減額		△7,890
長期借入金の四半期首残高		61,180
長期借入金の四半期末残高		53,290

(主な増減理由)

約定返済による減少です。

(注) 長期借入金は1年以内返済予定の長期借入金を含んでおります。

V その他

該当事項はありません。